

	6月	7月	8月
飛来日			5 0
セジロウカ			
△ 5月26日	ooooAAA	AAAA-----	ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----
○ 6月25日	AAAAAAA	A-----	ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----
☆○ 7月3日		AAAAAAA	ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----
トビイロウカ			
○ 6月25日	AAAAAAA	A-----	ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----
○ 7月2日		AAAAAAA	ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----ooooo@@@ooooAAAAA-----
コブノメイガ			
○ 6月30日	AAA-----	@@@@ooooo	ooooo+++++ + AAAA----- @@@@ooooo
☆◎ 7月3日	AAA-----	@@@@ooooo	ooooo+++++ + + AAAA----- @@@@ooooo

図 重要害虫防除適期予測図

予測日 20年 月 日

凡例 A: 成虫 - : 卵 o: 幼虫 +: 蛹 @: 防除適期  
 ☆ 主要な飛来 ◎ 多飛来 ○ 並飛来 △ 少飛来

概要

1 セジロウカ  
 (1) 飛来状況 5月26日に岩国市玖珂町の予察灯で初確認(平成5月29日)され、平成並みであった。  
 飛来日は、5月26日(少)、6月25日(並)、7月3日(やや多)頃と推測された。  
 現在までの主要な飛来日は、7月3日頃と推測された。  
 予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～7月3日合計)は、462頭(平成830頭)で平成並みであった。  
 (2) ほ場発生状況 6月下旬の巡回調査では、発生ほ場率37.5%(平成37.4%)、10株当たり虫数0.5頭(平成1.0頭)で平成並みであった。  
 (3) 防除対策 防除の必要性は低い。  
 防除の目安は、飛来がみられる7月中旬頃までは成虫で株当たり10頭以上である。なお、6月下旬の巡回調査地点では、株当たり10頭以上のほ場は認められなかった。

2 トビイロウカ  
 (1) 飛来状況 6月27日に下関市の予察灯で初確認(平成6月23日)され、平成並みであった。  
 飛来日は、6月25日(並)、7月2日(並)頃と推測された。  
 7月3日現在、多飛来は確認されていない。  
 予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～7月3日合計)は、4頭(平成4.1頭)で平成並みであった。  
 (2) ほ場発生状況 6月下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.3%)、10株当たり虫数0頭(平成0.01頭)で平成並みであった。  
 (3) 防除対策 現在のところ、防除の必要性は低い。  
 防除の目安は、6月下旬～7月中旬(飛来時)は10頭/100株、7月下旬～8月上旬(成幼虫)は20頭/100株以上  
 7月下旬にほ場の密度調査を実施する。

3 コブノメイガ  
 (1) 飛来状況 6月29日に山口市のマレーズトラップで初確認(平成6月23日)され、平年に比べやや遅かった。  
 飛来日は、6月30日(並)、7月3日(多)頃と推測された。  
 現在までの主要な飛来日は、7月3日頃と推測された。  
 山口市のマレーズトラップにおける誘殺数は、55頭(平成11.2頭)で平年に比べ多かった。  
 (2) ほ場発生状況 6月下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.7%)、被害葉率0%(平成0.1%)で平成並みであった。  
 (3) 防除対策 今後の発生予察情報に注意する。  
 葉色の濃いイネで被害が出やすいため、注意する。

この表の見方

この表は重要害虫の発生ステージ(卵、幼虫、蛹、成虫等)を調査月日までの実測気温と調査月日以降の平均気温から予測したものです。縦軸は害虫名で、横に発生時期を示します。  
 発生が多い場合の防除は、主要な飛来日(☆ 無い場合は○)で予測した@印(防除適期)の時期が適期になります。